



文部科学省後援 第5回 PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会 報告書

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：2019年12月21日(土)、22日(日)

(1日目) 予選4試合、(2日目) 準々決勝、準決勝、決勝、キーノートレクチャー

会場：東京大学 本郷キャンパス 工学部2号館

主催：一般社団法人 パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

共催：東京大学生産技術研究所、公立大学法人 大阪府立大学、

JST 未来社会創造事業「持続可能な社会の実現」領域

『「知」の循環と拡張を加速する対話空間のメカニズムデザイン』プロジェクト

後援：文部科学省、朝日新聞社、朝日中高生新聞、一般社団法人 日本英語交流連盟、

一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟、全国高等学校長協会

協賛：東京大学生産技術研究所次世代育成オフィス (ONG)

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

参加校：



(北海道) 北海道札幌南高等学校、(青森県) 青森県立青森高等学校、八戸聖ウルスラ学院高等学校、(岩手県) 岩手県立盛岡第一高等学校、岩手県立一関第一高等学校、(秋田県) 秋田県立角館高等学校、(山形県) 山形県立山形東高等学校、(茨城県) 茨城県清真学園高等学校・中学校 (栃木県) 栃木県立宇都宮高等学校、栃木県立佐野高等学校、栃木県立宇都宮東高等学校、(群馬県) 群馬県立前橋高等学校、(埼玉県) 埼玉県立浦和高等学校、埼玉県立浦和第一女子高等学校、さいたま市立浦和高等学校、(千葉県) 千葉県立千葉高等学校、翔凜高等学校、(東京都) 筑波大学附属駒場中・高等学校、富士見中学高等学校、豊島岡女子学園中学高等学校、東京都立日比谷高等学校、東京都立小石川中等教育学校、東京都立両国高等学校・東京都立両国高等学校附属中学校、渋谷教育学園渋谷中学高等学校、(神奈川県) 神奈川県立湘南高等学校、神奈川県立横浜翠嵐高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、神奈川県立相模原高等学校、浅野学園中学高等学校、栄興学園中学高等学校、聖光学院中学校高等学校、洗足学園中学高等学校、湘南白百合学園中学・高等学校、(富山県) 富山国際大学付属高等学校、(福井県) 福井県立藤島高等学校、(長野県) 長野県長野高等学校、長野県松本県ヶ丘高等学校、長野県松本深志高等学校、(岐阜県) 岐阜県立岐阜高等学校、(愛知県) 愛知県立岡崎高等学校、(三重県) 三重県立四日市高等学校、(滋賀県) 滋賀県立彦根東高等学校、立命館守山中学校高等学校、(京都府) 京都府立鳥羽高等学校、京都府立嵯峨野高等学校、(大阪府) 大阪教育大学附属高等学校平野校舎、大阪府立北野高等学校、大阪府立豊中高等学校、(兵庫県) 神戸大学附属中等教育学校、雲雀丘学園中高等学校、(奈良県) 奈良県立奈良高等学校、(鳥取県) 鳥取県立倉吉東高等学校、(岡山県) 岡山県立岡山大安寺中東教

育学校、(山口県) 山口県立宇部高等学校、山口県立山口高等学校、(徳島県) 徳島県立城之内高等学校、(香川県) 香川県立高松高等学校、(福岡県) 福岡県立城南高等学校、(熊本県) 鎮西学園真和高等学校、熊本県立八代高等学校、熊本県立第一高等学校、(鹿児島県) 鹿児島県立鹿児島中央高等学校、鹿児島県立大島高等学校、神奈川県立多摩高等学校 (swing) 65校

開催趣旨：

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)では、グローバルに活躍する人財育成の一手法として、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの複数の力を効果的に訓練可能な即興型英語ディベートを推進しています。

本大会では、即興型英語ディベートの普段の練習の成果を試し、全国の高校生と議論を交わすことで、さらなる成長・学習意欲を促すことを目的とします。授業での取り組み成果を発揮できるよう、形式は授業導入可能なフォーマットです。(参照：文部科学省助成事業 <http://englishdebate.org/debate/>)

論題(論題は、毎回ディベート開始15分前にはじめて発表されます)：

予選1：Club activities should have three-day holidays.

(部活動は週休3日とすべきである。)

予選2：Children should be prohibited from posting videos on video hosting websites.

(子どもが動画投稿サイトに投稿することを禁止すべきである。)

予選3：The postponement of introducing private English tests into national university entrance examinations has brought more benefits than harm.

(共通テストの英語民間試験導入の見送りは、害よりも利益をもたらした。)

予選4：Social media (e.g. twitter) causes only division of society.

(ツイッターなどのソーシャルメディア(SNS)は社会の分断を助長するだけである。)

準々決勝：Disaster forecasts should be issued from a single source.

(災害の情報は単一の情報ソースから周知されるべきである。)

準決勝：Japan should pay the full costs of US military bases in Japan.

(日本は米軍の駐留費を全額負担すべきである。)

決勝：Parents should be banned from corporal punishment of children for discipline.

- Hit children in the face or on the bottom
- Force children to sit straight for a long time
- Not to give food

(親がしつけに際して、体罰を加えることを禁止するべきである。)

※ここで、体罰は以下を含む。

・頬や尻を叩く・長時間正座させる・ご飯を与えない)

キーノートレクチャー講師:

- ウォール・ストリート・ジャーナル 日本版編集長 西山 誠慈 氏
- 東京大学生産技術研究所 教授 芳村 圭 氏
- ヤフー株式会社 コーポレートエバンジェリスト  
Yahoo!アカデミア 学長、株式会社ウェイウェイ 代表取締役 伊藤 羊一 氏

## 1 日目

開会式では、65校の高校が紹介されました。全国から二日間で北は北海道から南は鹿児島まで全国から高校生・教員・見学者が集まりました。今年は例年よりも見学者の数が多く中継会場にもたくさん集まり、熱気に包まれた中スタートしました。大会でのルール諸注意、PDA 認定教育ジャッジの紹介、ジャッジ手順の確認が行われました。また、代表理事よりディベートの勝敗に盲目になること（重箱の隅をつつく議論や勝つためだけの姑息な POI（質疑応答）、早口の自己満足など）を超えて、本質的に議論すべき内容を、紳士淑女の態度で正々堂々と深めることが、本大会の趣旨であることが述べられました。



開会式の様子（左：PDA 代表理事・中川智皓による挨拶・説明）

開会式が終わるとすぐに予選です。64 チームが一斉にディベートを行います。1 日目は予選が 4 試合行われ、その結果を受けて翌日の準々決勝に進出するチームが決まります。予選 1 の論題は「部活動は週休 3 日とすべきである。」です。現状で部活の週休が少ないことにより教員・生徒に生じている害や、週休三日であると部活の質が著しく低くなることから生じる生徒の精神面での害などが挙げられました。



予選1 日比谷 vs 札幌南



予選1 宇都宮 vs 鳥羽



予選1 北野 vs 翠嵐



予選1 四日市 vs 青森

予選2の論題は「子どもが動画投稿サイトに投稿することを禁止するべきである。」です。両チームとも子供や動画サイトの性質、近年の実際具体例をふまえてどのようなリスクがあるのか、それが禁止すべきものであるのかということをも深く議論を交わしていました。2試合目ということもあり、一試合目の反省を生かして議論に臨んでいました。



予選2 岡崎 VS 県立浦和



予選2 柏陽 VS 山口

レクチャーでは、早稲田大学国際教養学部准教授の石川先生によるゲーム理論を用いたディベートの考察がなされました。新しいディベートの見方に生徒たちも熱心にメモを取りました。



予選 3 の論題は「共通テストの英語民間試験導入の見送りは、害よりも利益をもたらした。」です。ちょうど、民間試験導入の見送りに深く関係する生徒たちが多かったため、自分たちの周りの状況を詳細に描写することで説得力を持たせていました。



早稲田大学准教授 石川先生



予選 3 鹿児島中央 VS 山形東

予選 4 の論題は「ツイッターなどのソーシャルメディア(SNS)は社会の分断を助長するだけである。」です。匿名性や多くの人にすぐに広がるという SNS の特性によって社会の分断が起こる説明が肯定側からなされ、一方で否定側は SNS で社会の分断以外にも、遠隔地でも世界中の人とつながれまた好きなものや共通の目的のもとに団結できる、これは社会の分断に反するものであると主張しました。第 4 ラウンドは試合後のジャッジからの勝敗の発表はありません。翌日の決勝トーナメント進出校の発表まで、緊張はつづきそうです。(翌日、各校へジャッジからのコメントシートが配布されます)



岡崎 VS 宇部



最後まで真剣です

第 4 ラウンドが終わると外はすっかり暗くなり、熱中していた時間の長さに驚かされました。生徒たちも明日の発表への不安もありつつ、4 試合全力で成し遂げた達成感を感じさせるいい顔を見せ、一日目が終了しました。

翌日の注意事項などの後、e-learning (ディベートのルールなどに関する事前学習) を受けた参加者の中から抽選でクリスマスプレゼントが渡されました。また、参加者が会場を出る直前にサンタが登場! 4 ラウンド頑張った生徒・教員・ジャッジ・見学者の皆さんへささやかなプレゼントが手渡されました。Merry Christmas! See you next day!

## 2日目

決勝トーナメントに進むチームの発表（Break Announcement）です。緊張した面持ちの生徒が続々と集まってきます。まずは、ジャッジブレイクの発表です。教員や社会人、大学生によるジャッジは、勝敗を決め、ディベーターである生徒にその理由と個人コメントを、教育的配慮をしつつ論理的に述べます。ジャッジのコメントに対して、どの程度生徒が納得できたか、またどの程度次への学習意欲を高めることができたかという観点で、生徒はジャッジを評価します。平均点が高かった21名の先生方が発表されました。おめでとうございます。次に、準々決勝に出場するチーム1位から8位までが発表されました。喜びの音が響き渡りました。

### 予選結果

- 予選1位 渋谷教育学園渋谷中学高等学校
- 予選2位 埼玉県立浦和高等学校
- 予選3位 大阪府立北野高等学校
- 予選4位 筑波大学附属駒場中・高等学校
- 予選5位 浅野高等学校
- 予選6位 聖光学院中学校高等学校
- 予選7位 さいたま市立浦和高等学校
- 予選8位 栄光学園中学高等学校

準々決勝の論題は「災害の予報は単一の情報ソースから周知されるべきである。」です。出場者が準備をしている間、ウォール・ストリート・ジャーナル 日本版編集長の西山誠慈氏 から前日の第4試合に関するレクチャー（SNSが社会の分断を引き起こす大きな原因になると同時に利益ももたらす）がありました。



万歳で喜ぶ生徒たち



西山 誠慈氏による予選4ラウンド目のテーマについてレクチャー

準々決勝は 4 つの会場で行われました。近年、災害が多くなっている世の中でその情報源が一つになるとどのような利益や負担があるか、情報の正確性や個人が自分にとって必要な情報を得る重要性について言及しました。



緊迫した準々決勝の様子

準々決勝終了後は、お昼休みです。午後からのキーノートレクチャー、準決勝・決勝に向けて頭も身体も休める生徒や、準々決勝の論題について友達と議論している生徒がいたりそれぞれの方法で束の間の休息を過ごしました。他校の生徒と論題について交流を深めている様子も見られました。

昼食後、準決勝進出チームが発表されました。準決勝の論題は「日本は米軍の駐留費を全額負担すべきである。」です。15分の準備時間の間、東京大学生産技術研究所 教授 芳村圭氏による準々決勝の論題に関するレクチャーがありました。東北大震災などの実際の具体例を交えながらの説明で、生徒たちも真剣に聴講していました。



芳村 圭 氏によるキーノートスピーチ



白熱する準決勝



準決勝のあとは、いよいよ決勝戦です。決勝の論題は「親がしつけに際して、体罰を加えることを禁止するべきである。」です。3位決定戦も同時に行われました。

また、決勝の準備時間の中に、ヤフー株式会社 コーポレートエバンジェリスト Yahoo!アカデミア 学長 株式会社ウェイウェイ 代表取締役の 伊藤 羊一氏に、ディベートの基本となる話す技術について講演をしていただきました。生徒たちに語り掛け、時折笑いもとりながら引き込む様子は、まさに生徒たちのモデルのようでした。二日間のディベートの最後の段階でありながらも生徒たちは生き生きと講演を聞いていました。



伊藤氏によるキーノートレクチャー



緊迫した決勝戦の様子

決勝戦、3位決定戦が終了し、表彰式が行われました。チーム賞、個人賞の授与が行われました。また、文部科学省・外務省後援 第5回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会（ワールド कांग्रेस）への出場権を手に入れた学校も発表されました。

## 第5回 PDA 即興型英語ディベート全国大会結果

### <チーム賞>

優勝：渋谷教育学園渋谷中学高等学校

準優勝：さいたま市立浦和高等学校

第3位：浅野高等学校

準決勝出場チーム（第4位）：聖光学院高等学校

準々決勝出場チーム（ベスト8）：

- ・埼玉県立浦和高等学校
- ・大阪府立北野高等学校
- ・筑波大学附属駒場高等学校
- ・栄光学園高等学校



PDA では、ディベートの強いチーム作りをした学校だけではなく、一般生徒向けに、学校全体で即興型英語ディベートの授業導入された学校を称えます。授業導入賞は、提出された書類やカリキュラムから選ばれました。

<授業導入優秀賞>

- ・福岡県立城南高等学校
- ・神奈川県立柏陽高等学校

<授業導入賞>

- ・岩手県立盛岡第一高等学校
- ・秋田県立角館高等学校
- ・栃木県立宇都宮高等学校
- ・栃木県立宇都宮東高等学校
- ・埼玉県立浦和高等学校
- ・東京都立日比谷高等学校
- ・東京都立両国高等学校
- ・筑波大学附属駒場高等学校
- ・神奈川県立相模原高等学校
- ・神奈川県立多摩高等学校
- ・聖光学院高等学校
- ・長野県長野高等学校
- ・長野県松本県ヶ丘高等学校
- ・滋賀県立彦根東高等学校
- ・京都府立嵯峨野高等学校
- ・大阪府立北野高等学校
- ・神戸大学附属中等教育学校
- ・鳥取県立倉吉東高等学校
- ・山口県立山口高等学校
- ・徳島県立城ノ内高等学校
- ・熊本県立八代高等学校
- ・熊本県立第一高等学校
- ・鹿児島県立大島高等学校

<その他個人賞> (多数、個人名は略)

- ・ジャッジ賞、ベストディベーター賞、POI 賞

以上の結果を受け、第5回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会への出場権は、以下の5校に進呈されました。

<1位~3位> 渋谷教育学園渋谷高校、さいたま市立浦和高等学校、浅野高校

<授業導入優秀賞> 福岡県立城南高校、神奈川県立柏陽高校



優勝：渋谷教育学園渋谷中学高等学校



準優勝：さいたま市立浦和高等学校



3位：浅野高等学校



4位：聖光学院高等学校



ベストディベータ賞



ベストPOI賞

## アンケートの声（抜粋）

### 【生徒の声】

- ・難しい論題もなかにはあったが、近年の社会背景なども考えた上で本質的なことを議論させようとしているのが伝わった。（両国）
- ・試合の実践はもちろん、観戦からも沢山のことを学ぶことが出来ました。（竹園）
- ・自分のスピーチの実力を試すことができ、ジャッジによってはとても分かりやすく改善点を教えてくださったため、技術の向上にもつながったから。（日比谷）
- ・日本語でさえできないようなハイレベルのディベートが見られて大変貴重な体験でした。（千葉）
- ・論理的な思考能力が身についた、さまざまな社会問題について異なる視点で考えることができるようになった。（北野）
- ・他校のディベートを見ることができ、刺激を受けられた。的確なフィードバックだったため、自分の弱点を理解できた。（湘南白百合）
- ・ぎゅっと身の詰まった大会をありがとうございます！これからも頑張ろうと思いました。（宇都宮東）
- ・今回 2 回目の参加となりますが、何より自分自身が成長してることを実感できた。しかし、他校のスピーチとかレビューしたときに、まだまだ爪の甘さや分析不足が目立つので改善していきたい。（奈良）
- ・全国大会はあまり経験がなかったので、このような素晴らしい大会に選手として参加できたことを誇りに思います。楽しくディベートができました。ありがとうございました。（佐野）
- ・英語についての学習意欲がさらに湧き、これからも英語ディベートの学習を深めていきたいと思うような大会でした。非常に良い経験ができました。（城南）
- ・初めての即興ディベートの大会だったので、難しかったです。得ることが多く楽しめました。（真和）
- ・ディベート以外でも生活に応用出来そうなことが分かり素晴らしい時間が過ごせた。（宇都宮）
- ・専門ジャッジの的確なアドバイスをきくことができとてもよかった。これから参考にしていきたい。（松本深志）
- ・最初は緊張していましたが、スタッフの方々の暖かい対応やディベートをすることの楽しさにより、すぐに本大会に慣れました！夏の PDA 大阪合宿よりも自分たち、また周りの成長も感じたので、また機会があれば更に成長した姿をお見せしたいです。ありがとうございました。（佐野）
- ・全体を通して、様々な意見や知識を得る事ができました。そしてさらにまだ自分が知らない事や改善できる部分がたくさんある事をすごく感じたのでもっと日頃から意欲的に行

動していきたいと思いました。今回の大会は自分にとって良い機会だと思ったので今後活かしていきたいと思います。(鳥羽)

- ・日本のあらゆるところの人と友達になれてよかったです。(清真)
- ・今回、この大会に参加させて頂けて、貴重な経験が得られたと思います。特に、他地方の高校との交流及び試合は大変有意義でした。来年も自身が参加することは叶いませんが、後輩たちに思いを託したいと思います。(嵯峨野)
- ・全然考えてもみなかったので、ニュースを通して自分の意見をノートにまとめたい。(雲雀丘)
- ・キーノートレクチャーがすごく面白かった。貴重なお話を聞く機会になるので今後も続けて欲しいと思う。(柏陽)

#### 【教員の声】

- ・勝ち負けで終わらないように教育的な配慮がされており素晴らしかったです。
- ・POI ルールの変更や早口減点ルールなど変えることを恐れることなく、教育ディベートに軸足を置いた取り組みであることにぶれずに大会を運営されていることは素晴らしいと思います。
- ・この大会が目標です。今後ともよろしく願いいたします。
- ・対戦相手に恵まれ、また素晴らしい高校生ディベーターと交流でき、生徒はかなり刺激をいただいたようです。今回の他校の様子を拝見し、授業をどのように改善すべきかのヒントを得ることができました。また、私のディベート力の向上の必要性を痛感することができ、生徒にとっても私にとっても、また学校にとっても素晴らしく貴重な二日間でした。
- ・全国の高校生と先生方との交流ができて素晴らしい機会です。いつもありがとうございます。
- ・教員の指導法の共有になった。
- ・即興で意見をまとめ、相手の意見も理解して反論することで英語力、論理的思考力が飛躍的に向上する機会になった。
- ・運営のスムーズさ、レベルの高さ、スタッフの方々の適切な指示、充実させたレクチャー
- ・最高峰の大会を最高峰の大学で

以上



文部科学省後援 第5回 PDA高校生即興型英語ディベート全国大会

予選順位

Place	Name	Win	Sum	Place	Name	Win	Sum
1st	渋渋	4	192	33th	松本深志	2	140
2nd	県立浦和	4	165	34th	富山国際	2	140
3rd	北野	4	161	35th	大教大	2	139
4th	筑駒	4	156	36th	山形東	2	139
5th	浅野	3	176	37th	浦和一女	2	139
6th	聖光	3	170	38th	湘南白百合	2	138
7th	市立浦和	3	169	39th	豊中	2	136
8th	栄光	3	169	40th	嵯峨野	2	135
9th	岐阜	3	164	41th	鳥羽	2	133
10th	豊島岡	3	162	42th	富士見	2	132
11th	日比谷	3	161	43th	翔凜	2	130
12th	柏陽	3	156	44th	八戸ウルスラ	2	117
13th	洗足	3	153	45th	佐野	1	155
14th	宇都宮	3	151	46th	湘南	1	150
15th	四日市	3	150	47th	両国	1	145
16th	相模原	3	149	48th	鹿児島中央	1	145
17th	札幌南	3	148	49th	倉吉東	1	141
18th	竹園	3	148	50th	翠嵐	1	141
19th	高松	3	141	51th	岡山大安寺	1	140
20th	宇都宮東	3	127	52th	立命館守山	1	139
21th	藤島	2	163	53th	城南	1	138
22th	岡崎	2	157	54th	大島	1	136
23th	長野	2	156	55th	熊本第一	1	136
24th	八代	2	154	56th	山口	1	133
25th	神大中	2	148	57th	彦根東	1	130
26th	青森	2	146	58th	角館	1	129
27th	奈良	2	145	59th	千葉	1	127
28th	前橋	2	144	60th	宇部	1	123
29th	盛岡第一	2	143	61th	城ノ内	0	143
30th	県ヶ丘	2	142	62th	一関第一	0	139
31th	小石川	2	141	63th	雲雀丘	0	121
32th	清真	2	141	64th	真和	0	117

文部科学省後援 第5回 PDA高校生即興型英語ディベート全国大会 対戦表

R1

番号	Gov	Opp
1	岐阜	湘南
2	宇都宮東	富山国際
3	大教大	長野
4	角館	彦根東
5	八代	湘南白百合
6	嵯峨野	聖光
7	八戸ウルスラ	大島
8	浦和一女	奈良
9	山形東	松本深志
10	富士見	千葉
11	城之内	栄光
12	前橋	岡崎
13	城南	相模原
14	清真	洗足
15	豊中	柏陽
16	県立浦和	宇部
17	浅野	倉吉東
18	小石川	熊本第一
19	佐野	雲雀丘
20	神大中	豊島岡
21	鹿児島中央	渋渋
22	宇都宮	鳥羽
23	日比谷	札幌南
24	一関第一	県ヶ丘
25	藤島	両国
26	北野	翠嵐
27	竹園	立命館守山
28	翔凛	岡山大安寺
29	四日市	青森
30	高松	筑駒
31	市立浦和	真和
32	山口	盛岡第一

R2

番号	Gov	Opp
1	富士見	宇都宮
2	日比谷	市立浦和
3	県ヶ丘	山形東
4	相模原	藤島
5	北野	浦和一女
6	八代	佐野
7	小石川	翔凛
8	岡崎	県立浦和
9	盛岡第一	筑駒
10	八戸ウルスラ	神大中
11	長野	豊中
12	聖光	浅野
13	富山国際	四日市
14	渋渋	洗足
15	彦根東	栄光
16	岐阜	竹園
17	豊島岡	大島
18	奈良	角館
19	倉吉東	立命館守山
20	札幌南	千葉
21	翠嵐	清真
22	宇部	松本深志
23	岡山大安寺	城之内
24	柏陽	山口
25	熊本第一	前橋
26	雲雀丘	両国
27	真和	鹿児島中央
28	嵯峨野	城南
29	青森	湘南白百合
30	宇都宮東	一関第一
31	湘南	高松
32	鳥羽	大教大

## R3

番号	Gov	Opp
1	八代	北野
2	市立浦和	小石川
3	栄光	宇都宮
4	藤島	岐阜
5	聖光	四日市
6	渋渋	長野
7	筑駒	県ヶ丘
8	県立浦和	神大中
9	岡崎	日比谷
10	鹿児島中央	山形東
11	両国	柏陽
12	青森	岡山大安寺
13	立命館守山	豊島岡
14	彦根東	相模原
15	富山国際	札幌南
16	高松	富士見
17	竹園	盛岡第一
18	清真	嵯峨野
19	洗足	翔凛
20	奈良	宇都宮東
21	浅野	浦和一女
22	豊中	八戸ウルスラ
23	松本深志	佐野
24	鳥羽	前橋
25	湘南白百合	真和
26	倉吉東	城南
27	大教大	雲雀丘
28	城之内	山口
29	宇部	一関第一
30	角館	熊本第一
31	大島	翠嵐
32	千葉	湘南

## R4

番号	Gov	Opp
1	筑駒	市立浦和
2	栄光	渋渋
3	聖光	北野
4	岐阜	県立浦和
5	四日市	鳥羽
6	宇都宮	小石川
7	札幌南	清真
8	柏陽	青森
9	神大中	宇都宮東
10	県ヶ丘	日比谷
11	長野	竹園
12	洗足	豊中
13	豊島岡	八代
14	藤島	高松
15	松本深志	相模原
16	山形東	浅野
17	山口	盛岡第一
18	彦根東	大教大
19	熊本第一	富山国際
20	鹿児島中央	八戸ウルスラ
21	大島	富士見
22	立命館守山	翔凛
23	岡山大安寺	嵯峨野
24	湘南	前橋
25	佐野	浦和一女
26	岡崎	宇部
27	両国	湘南白百合
28	城南	奈良
29	真和	角館
30	一関第一	翠嵐
31	雲雀丘	倉吉東
32	千葉	城之内